

事務事業名		産地パワーアップ事業		目標設定日	令和2年3月1日
				部・局	経済部
総合計画体系	基本政策	3	にぎわいと活力あふれるまちづくり	課・室	農政課
	政策	03	農林業の振興	係	振興係
	施策	01	競争力のある産地体制の構築	内線電話	253
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	6款	農林水産業費	未計上	
	項	1項	農業費	実施期間	
	目	2目	農業総務費	平成28年度 ~	

目指す姿	対象（誰のために）	農業者	意図（どのような状態にしたいのか）	水田、畑作、野菜、果樹等の産地において創意工夫をし、地域の強みを活かして起こすイノベーションを促進する。
	現状・課題	農業の国際競争力の強化を緊急に実施する必要があるとして創設された。情勢の変化はあるが、地域一丸となって収益力強化に計画的に取り組む産地への支援策として実施されている。		
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	中野市産地パワーアップ事業補助金交付要綱		
事務事業概要	産地の高収益化に向けた取組に要する経費に対し、予算の範囲内で補助金を交付する。			
令和2年度の活動指標アウトプット	活動内容		活動量	
	産地パワーアップ事業補助金の交付		160件	

事務イン 事業プ コスト	項目		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	予算額	当初予算		円	91,574,000	166,756,000
補正・流用等		円	24,466,000	17,367,000	—	
合計		円	116,040,000	184,123,000	194,091,000	
決算（見込）額 A			円	103,130,000	184,123,000	—
財源内訳	国庫支出金		円	103,130,000	184,123,000	194,091,000
	県支出金		円			
	市債		円			
	その他特定財源		円			
R2は予算額	一般財源		円	0	0	0
正規職員数			人	0.46	0.46	0.46
人件費 B			円	2,959,640	2,963,320	2,963,320
総事業費 A+B			円	106,089,640	187,086,320	197,054,320
市民1人当たりコスト			円	2,480	4,397	4,649

成果指標	アウトカム	方向	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
補助対象施設件数		維持	目標	94	116	160	件	
			成果	100	134	—	件	
			目標					
			成果			—		
成果指標と目標値を設定した理由	事業規模がわかるように補助対象施設の件数を成果指標とし、事業計画から目標値を設定する。							

令和2年度の実施方針	例年どおり実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	維持する
	継続実施により更に高収益化された産地体制の構築を目指す。						

